

食味、形状に優れるイチゴ新品种「いばらキッス」

[要約]

「いばらキッス」の糖度は、「とちおとめ」よりやや高く、酸度は「とちおとめ」と同等で、「甘さ」と「酸味」のバランスが良く食味に優れる。また乱形果の発生が少なく、形状が良い。収量は「とちおとめ」よりやや多い。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成果
区分

普及

1. 背景・ねらい

本県のイチゴは、作付面積 283ha、産出額 76 億円（全国 8 位）と冬季の重要な野菜である。本県の栽培品種の大部分を栃木県育成の「とちおとめ」が占めているが、静岡県、群馬県などの他産地では県独自のイチゴ品種を育成し、ブランド化により有利販売につなげている。そこで県内産地の活性化を図るため、品質が優れ、安定生産が可能な本県オリジナルのイチゴ品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「いばらキッス」（旧系統名：ひたち 4 号）は、「とちおとめ」を種子親、「ひたち 1 号」を花粉親とする交配組合せの中から、品質や食味を重点に選抜を進めた系統である（図 1）。
- 2) 果実は「とちおとめ」より長めの円錐形であり、果皮色は濃赤色で光沢が強い。果肉色は「とちおとめ」と同様の鮮赤であるが、果心の色は「とちおとめ」より淡く、淡赤である（図 2、表 1）。
- 3) 果実硬度は「とちおとめ」よりやや低い。糖度は「とちおとめ」より高く、酸度は「とちおとめ」と同等である（表 1）。
- 4) 収量は「とちおとめ」よりやや多く、中休みが少ないため収穫期間を通して安定している。一果重は「とちおとめ」より大きい。乱形果の発生は「とちおとめ」より少ない（表 2、図 3）。
- 5) 生産者評価は、「とちおとめ」と比べて果実の形状、食味が良い、草勢が強いが、収穫始期がやや遅く、果実の硬さがやや軟らかいという評価であった（表 3）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「いばらキッス」は平成 24 年 12 月 28 日に品種登録された。
- 2) 県内の促成栽培向きの品種である。
- 3) 「とちおとめ」より炭そ病の発生がやや多い傾向が見られるので、育苗期の防除を十分に行なう。
- 4) 暖候期には、果実が軟らかいため、収穫適期に注意する。
- 5) 育苗期の肥培管理によっては「とちおとめ」より収穫始期が遅くなることもある。
- 6) 「いばらキッス」普及拡大方針に沿って普及を推進する。

4. 具体的データ

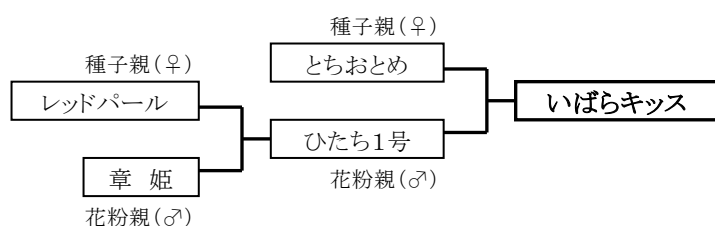


図1 「いばらキッス」の系譜



図2 「いばらキッス」の果実

表1 果実の外観及び果実品質の比較

品種名	果形 ¹⁾	果皮色 ¹⁾	果実の 光沢 ¹⁾	果肉色 ¹⁾	果心の 色 ¹⁾	硬度 ^{2,3)} (kg)	糖度 ²⁾ (Brix%)	酸度 ²⁾ (%)
いばらキッス	長めの円錐	濃赤	強	鮮赤	淡赤	0.49	10.3	0.75
とちおとめ	円錐	鮮赤	強	鮮赤	赤	0.51	9.9	0.74

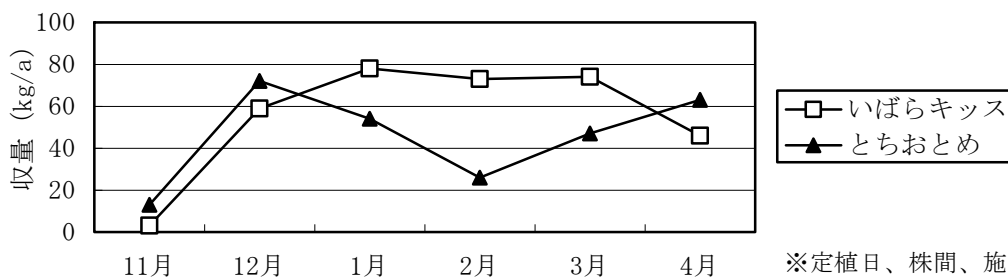
¹⁾平成20年度調査、²⁾18年度～平成21年度の11月から4月までの平均値、³⁾果実硬度計・円柱形Φ5mmプランジャーの貫入抵抗値

表2 開花・収穫開始日、収量および変形果発生率の比較 (平成18年度～平成21年度平均)

品種名	開花 始期 ¹⁾ (月/日)	収穫 始期 ¹⁾ (月/日)	収穫 果数 ²⁾ (個/株)	収量 ²⁾ (kg/a)	1果重 ³⁾ (g)	大果率 ⁴⁾ (%)	乱形果 発生率 (%)	奇形果 発生率 (%)
いばらキッス	11/6	12/14	30.1	331	13.7	36.1	4.7	5.5
とちおとめ	10/30	12/5	27.4	281	12.0	28.0	6.7	4.1

定植日；平成18年度：9月13日、平成19、20年度：9月14日、平成21年度：9月17日 株間23cm
元肥N；平成18、19年度：16kg/10a、平成20、21年度：15kg/10a

¹⁾株毎の開花・収穫開始日の平均、²⁾7g以上の果実、³⁾収穫全果実平均、⁴⁾15g以上の果実割合



※定植日、株間、施肥量は表2と同
¹⁾7g以上の果実

図3 月別収量¹⁾の推移 (平成18年度～平成21年度平均)

表3 「いばらキッス」を試作した生産者の評価 (平成20年度) (園芸研究所)

収穫 始期	第二果房 の発生	着果数	果実の 大きさ	果実の 形状	果実 の色	果実の 硬さ	食味	草勢	病気の 発生	収量
2.3	3.3	3.8	2.8	4.5	4.0	2.3	3.8	4.0	3.8	3.0

生産者4名による「とちおとめ」を3とした場合の相対評価

収穫始期；1:遅い～5:早い、第二果房の発生・果実の形状・食味；1:悪い～5:良い、着果数・収量；1:少ない～5:多い、果実の大きさ；1:小さい～5:大きい、果実の色；1:薄い～5:濃い、果実の硬さ；1:軟らかい～5:硬い、草勢；1:弱い～5:強い、病気の発生；1:多い～5:少ない

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

野菜新品種育成および地域適応性検定試験・平成6年～・野菜育種研究室、園研・野菜研究室